



奴隸女教師・景子 ⑩



奴隸女教師・景子 ⑩

MW
COMICS
成年
コミック

原作 / 杉村春也
漫画 / まいなあぼお



奴隷女教師・景子

10

目次

第十五章

淫らな採用試験

7

第十六章

悪徳教師の贖

103

今までの話

私立の名門英正学園に就職した英語教師、松下景子はかつて家庭教師をしていた春川かおると再会する。しかしかおるには暗い驕りが…

かおるの母親、春川佳代にその原因究明を頼まれた景子は3年E組に巣食う不良グループ黒志会に接近した。しかし景子は彼等の毘にはまり、むりやりかおると肉の関係を持たされたあげく黒田ら四人に輪姦されてしまう。

弱味を握られた景子は次々と出される無理難題に従わされ、徐々に露出狂のマゾ奴隷へと調教されていく…そしてついに黒志会の魔手は春川かおるの母へと向かうのだった…

悪徳教師の横田に排泄の自由を奪われた母佳代は徐々に洗脳され露出マゾ奴隷として人格を改造されていく…





もはや他人の視線を気にする余裕もなく佳代は腰をくねらせながら快感を貪る…

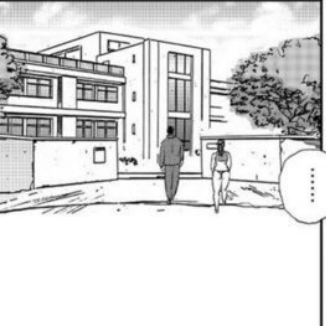
うう…

体内のハイブはすでに電池切れで止まっていたものの局部に巨大な異物が入っているため佳代はがに股でよろよろと歩くしかなかった

股間は愛液とも小便ともつかない体液でべとべとに濡れていた…

いいな…面接ではボロをださんようにな…俺はお前の保証人になっただ俺の面子をつぶさんように何を聞かれてもハイハイと応えるんだ

お前が生徒の母親だとばれたら…近親相姦の事実が公になっってしまうからな



降りるぞルミ子

!!



ハイ…



はあ…あ



私鉄の駅を降りると学園までは十分ほど徒歩で歩かなければならない















もちろん教頭も井川もこの女が実は春川かおるの
実の母であり脅されて演じている事を知っている

素人の未亡人が必死に元ストリップのふりをしてつたない裸踊りをして光景は三人の鬼畜達を興奮させるには十分だった



え...それではつたない芸ではございますがルミ子の特出しショーをご覧下さいませ

ああ...まさか息子の学校でこんなことをさせられるなんて

佳代は二人の教師と事務員の眼前で自宅で練習したダンスを披露するはめになった...たどたどしいながらその美麗な肉体を惜し気もなく開陳すると男達は目を見開いて注視した



井川君はストリップというものを見た事があるかね?

お恥かしい話ですが若い頃はたびたび劇場に足を運んだ事がありました

そういえば特出しで有名なルミ子という踊子がいましたがまさか本人では







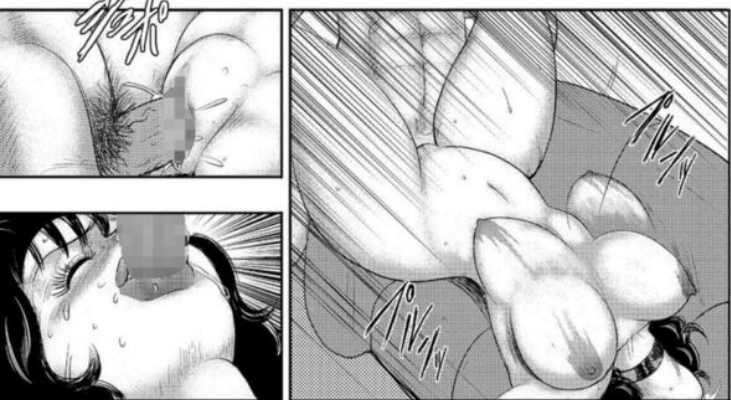














用務員の仕事は
重労働ですからね
それなりに体力が
ないと勤まり
ませんよ



それなら心配は
いらんよ
ダンサーだからね
体力にも問題は
ないでしょう

しかし一応
テストはして
おいた方が
いいだろう

井川君の
一理ある



ここなら体力テストに
最適だろう

土曜の午後
という日も
あり生徒は
もういなくなつた



きゅん

ぐえ



うむ...
どちらも
悪くない

ふう...
もう出ねえ
何回も口に
出したぜ



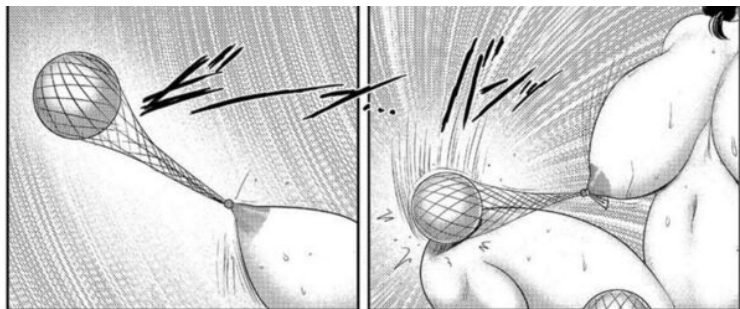
うぶっ



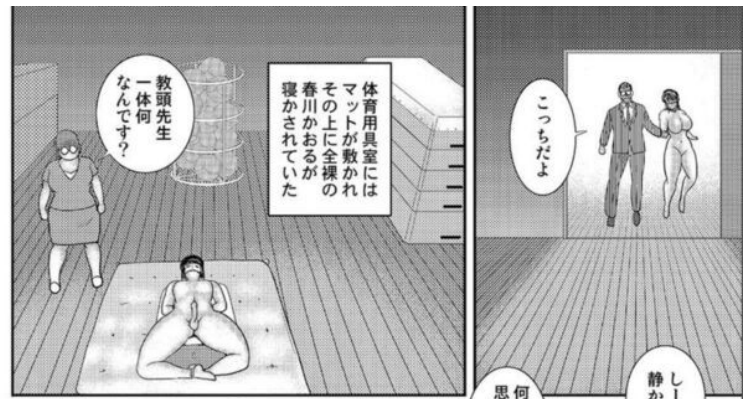
ん?
他に何か?

しかし淫乱で
男を楽しませる
というだけでは
採用する訳には
いきませんな









































二人は無理矢理佳代に酒を飲ませた
その中には利尿剤が
入れられていた



もともとアルコールが
強くない佳代はたちまち
顔を真っ赤にしてしまう

酩酊した美女は
ろくに抵抗もできず
男達のなすがまだった



明らかに素人のへたくそな
踊りだがお淑やかな未亡人が
必死にセクシーなポーズを
とっているというだけで

井川も佐倉もサディスティックな
暗い愉悅に股間を硬くしてしまう...
これからはこの絶世の美女を淫乱な
不良女として扱い凌辱できると
考えただけで二人の鬼畜達はこの
英正学園で働いていたことの幸運を
かみしめるのであった...

いやあ...
さすがにプロの
踊りだ...



わっ...
私は...
お酒は...

ルミ子!
佐倉さんの
盃を受け取れ
ないのか?
失礼だぞ

さあ...
ぐっと一杯
やってくれ

遠慮せずに
さあ







出すぞ
ルミ子
全部飲めッ

うん
うん



どうだ？
俺の精液はうまい
だろう？



おこッ…
ぶははっ…
…つぱりゆっ

そうだ
もつと強く
吸うんだ

うんぐ…
ごぶっ

どうだ
ルミ子
ここがいい
んだな？

ガッ
ガッ
ガッ











景子自身 今日も朝まで自宅に押し掛けて来た生徒達に犯され続けていたのだ

二階にはぼろ雑巾のようになった佳代が布団の中で死んだように眠っていたのだが！もちろん景子は知る由もない！



今回から国語のテストの上位者が含まれたため数学の百点満点が重複し十人の生徒に景子はベツトとしてお仕えしたのだった！



土曜日曜と三日連続で若い野獣達に犯され続けてさすがに景子は音を上げてしまった！



井川と佐倉は日曜は一日中佳代を襲り続けたのだ

佳代は眠る事も許されず二人の野獣のどろどろした精液を何度も体内に注がれ何度も唾下させられ！その美しい顔を臭い白濁で汚されたのだった！



さらに昨晚井川は朝まで美夫人の豊富な肉体を犯しまくっていたのだ！



景子の時の記録をはるかに超える回数放出したさしもの獣もさすがにこの朝美人教師を犯す気にはなれなかった！





月曜日
松下景子は相変わらず痴漢達に取り囲まれノーパンの尻を撫で回されていた

第十六章 サクリフェイス 悪徳教師の贄

同行する生徒達も痴漢に協力して景子の周りに壁を作り一般の客の視線を遮っているため痴漢達はますます図に乗って景子の身体を好き勝手に弄りまわすのだった...



生徒達が必死になるのには理由があった。まもなく期末テストが行われそのテストでいい点数を取れば夏休みの夏期講習が行われるまで景子の御主人様になれることがわかったからだ。本来ならこんな事をせずに勉強に精を出すべきなのだが...もはや諦めて景子凌辱に全力を出す者。逆に自信ありげに余裕で景子を犯す者。そうしてようやく六月最後の週が始まるうとしていた...

ふがっ

おらっちゃんとしやぶれ!



したい放題に景子を
犯しまくる痴漢の姿を
見て生徒達も興奮し
同じように下半身裸に
なってペニスを放り出し
顔に擦り付ける



朝からさっそく精液まみれに
された美人教師はただ
差し出されたペニスを
条件反射のように口に含み
しゃぶり続けるのだった…



景子の周辺は痴漢と
生徒にガードされ
数駅間はやりたい
放題の治外法権状態に
なってしまった…
逆らっても無駄と
観念した景子は
促されるまま男達の
ペニスに舌を這わ
せるのだった…



下半身丸出しになった
痴漢達は駅から駅の僅かな
時間に射精するために
激しく景子の口を責める…
景子も早く終わらせる
ために必死に励んだ

あはは

あはは



黒田さん
同好会って
何するん
ですか？

こんな
朝早く…
テスト勉強
したいんですよ



ぼやくなよ
それだけの
見返りが
あるんだ

そら
同好会顧問の
おでましたぞ
挨拶しろよ



おおっ

すげえ
格好だぜ



遅いじゃねーか
これからは毎朝学校の
周りをランニング
するからな



さすが
松下先生



黒田君から
言つてを頼まれてな

こいつを着て
南門に来てとさ



そ…それでは
私はこれで

おっと
待ちな



スポーツ
同好会
初回という
わけだが…

朝早くから
御苦労



五人か…
まあこんな
もんな



?



こっ...
校長先生!

松下君 そんな
格好で何をしている
のかね?



校長はしばらく
出張していて
顔をあわせるのは
ひさしぶりだった

こんな朝早くから
何をしているかと
聞いているんだ
その格好はどういう
趣向なのかね?



校長先生
おはよう
ございます

あ...あの...
スポーツ同好会
と聞いてまして...

おはよう
黒田君...

俺らはスポーツ
同好会を立ち上げ
ましてね...



景子に渡されたのは極薄の
スケスケのレオタードだった...
よく見ると乳首も股間も
透けて丸見えでそのうえ
背後から見ると細いタイツが
尻の間に食い込んでしりたぶが
全て露出してしまっていた...

三年E組の同好会メンバーだけでなく
早めに登校して来た一般生徒までもが
朝日に眩しく輝く景子の裸身に
目を丸くしていた...
景子はそんな様子に気がついて
身体を隠す事も出来ずに
呆然と突っ立っていた...

わかってるな
へんに隠したりしたら
素っ裸で走らせる
からね

スポーツ同好会の顧問に指名
された時いやな予感がしたが
まさかこんな風に晒し物に
されるとは思いもよらなかった

























頬を紅潮させた美人教師がこれ見よがしに尻と股間を突き出す様に何も知らない生徒達はポカーンと口を開けみづめるだけだった

生徒も景子もまるで淫らな催眠術にかかったように互いに興奮し教室はまるでピンク色の霞につつまれたような有り様だった

で...ですから...健全な精神は健全な肉体に宿る...と申します...みなさんもスポーツ同好会に入会してください...



困ったわ!でも授業が始まっちゃう!あとで井川か佐倉に解いてもらわないわ!

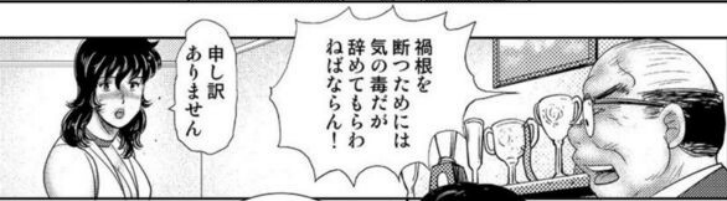
慌てて縄の上から下着をはいて五限目と六限目の授業に出た景子だったが...

露出の快感と縄とビー玉の刺激からか景子は異常に感じてしまった...

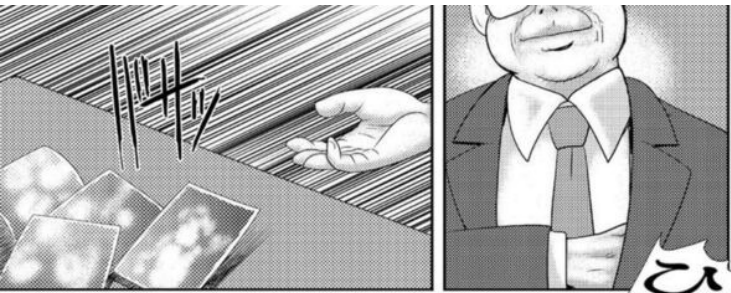
食い込んだ縄がピンピンに勃起したクリトリスを刺激し体内のビー玉がゴロゴロときしんでたまらないのだ!

再び尻を晒すパフォーマンスを繰り返す事を強制されるうちに...













いいぞおツ
松下君
たつ...
たまらんッ

げぼうっ



おううっ
出すぞ



むぎゅっ



おぐっ



おぶっ

うむむっ...
そうだっ...
もつと強く
吸うんだ...



ぐい

あああ...
校長先生まで
こんなこと
するなんて...

あんまり
ですわ...

それ...僕の物も
もうこんなになっ
て
るんだ...お口で
サービスしてくれ



井川や佐倉のものは
しゃぶれて校長の
ものはしゃぶれない
というのかね...

君は男のミルクが
三度の飯より好きで
課外授業の時も
十人くらいの生徒に
ご馳走になっている
そうじゃないか

おむ...



おぐ...





いつ...
いやアアアッ
写さないで
下さい 後生!

ふふふっ...
美人先生の
放尿シーンとは
貴重だな

長時間尿意を我慢して
いたために...なかなか
放尿が止まらず景子は
何枚もの写真を撮られて
しまった...



あ...
あんまり
です...

松下君
小便を出し切って
すっきりした
だろう

手を後ろに
まわすんだ...
縛ってやろう



!!
なんだ!?
ビー玉か?
君はケツの穴に
いつもビー玉を
入れて禪を締めて
いるのかね?

ああ...
見ないで
ください!

ううむ...
君がここまで
変態だとは
知らなかった
よ...

君のような
変態女教師を
扱えるのは
当校において
他にないだろうな

くううっ



おっとこんな
シャッター
チャンスは
またないぞ

い...
ああ!!



景子の疑念は
当たっていた…
それも景子の
想像以上に…

よし！いいぞお…
そうして切なそうな
顔をして俯いている
ところなんぞたまらん

景子は知る由もなかったが
今までの事は全て校長が
企てた事と言つても
過言ではなかったのだ…
黒田達が荒れ狂っていた
去年の事であった…



校長は一計を案じた
新たに雇う教師に美人の
松下景子を採用し彼等の
生け贖にして横田と
黒田達をコントロール
しようというのだ…



その黒田達に学年担当の
横田が春川かおるに手を
出した事を目撃されて
しまったのだ…
不良生徒と不良教師という
二つの問題に直面し…



そら
もつと腕を上
に
あげろっ！



校長は馴れた手つきで
女教師をキリキリと
緊縛してしまつた…
進学校の校長にこんな
特技があることに景子は
驚くとともに…

くうう…

景子は深い疑心を抱いていた…
横田や黒志会の関係といい
井川や佐倉の事そして今回の
事とい…あまりにも手際も
よすぎないかと…
最初から景子を罠にはめるよう
仕組まれていたのではないか…





奴隷女教師・景子 10

完



MWコミックス 09

奴隷女教師・景子 ⑩

平成 29 年 10 月 1 日 初版発行

著 者 原作 杉村春也
漫画 まいなあほおい
発行人 日向大典
発行所 マイウェイ出版株式会社
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町 1-2-5
和栗ハトヤビル 3F
(03) 5577-6830 (営業部)
DTP・製版 株式会社公栄社
印刷所 三共グラフィック株式会社

Printed in Japan

落丁・乱丁の場合には小社にてお取りかえいたします。
定価はカバーに表示しております。